

# 校内研修計画

甲州市立玉宮小学校

## 1 学校課題

甲州市の北部に位置する玉宮地区は、平沢のザゼンソウやカタクリ、竹森川のホタルやヤマメ、水晶など特有の自然に恵まれている地域である。また、神社・寺・道祖神などの史跡が多く、古い言い伝えなどの文化が残っている地域でもある。地域の人たちは、非常勤講師として児童の指導に携わったり、学校行事への積極的な参加が見られたりするなど、学校教育に対する関心が高い。

本校は、全校児童34名と小規模校であり、明るく素直で意欲的に学校生活を送っている児童が多い。小規模校のよさとして、「学校行事や児童会活動等において、児童一人ひとりが活躍する場を多く設定できる。」「児童相互の人間関係が深まりやすい。」「異学年間の縦の交流が生まれやすい。」「一人ひとりの児童の実態を把握し、きめ細かな指導を行うことができる。」等、挙げられる。また、小規模校の課題として、「クラス替えがないことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。」「集団の中で多様な考えに触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。」等、挙げられる。

## 2 研究主題

「個を高める 確かな学力の育成」

～算数科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～

## 3 主題設定の理由

### (1) 児童の実態から

学校課題で述べたように、本校児童は、少人数での学びとなるため、指導が行き渡りやすい反面、多様な意見を出し合い、友だち同士の関わり合いによって学ぶなど、学び合うことが弱い傾向にある。そこで、児童が主体的に思考・判断・表現し、教材や友達、教師との対話によってどのように考えを深めていくのか、そのためにはどんな問題提示や発表、発問のしかたなどがよいのか、という視点に立って授業づくりをしていくことが必要となる。

### (2) 新学習指導要領から

今年度より全面実施となる新学習指導要領では、「生きる力」を育むために、「何ができるようになるのか」という観点から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの力をバランスよく育むことを目指している。このような資質・能力を育むために、各教科において、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視した主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善が求められている。

### (3) 昨年度の研究から

本校では、「個を高める確かな学力の育成」を研究主題として、平成30年度より、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究を進めてきている。昨年度は、「主体的な学び」とは何か、「対話的な学び」とは何か、「深い学び」とは何か、指導主事を招いて学習会を行う中で理解を深めてきた。また、国語科及び算数科において、主体的・対話的で深い学びとなるような手立てを考え、授業実践を重ねてきた。その結果、「教師がコーディネーターとなって児童の発言をつなぎ、意図的に正しい方向に整理していくことが深い学びにつながる。」「児童が既習の学習を使いながら学習を深めていくために、板書などの記録を掲示することは有効である。」「児童が自信や安心感を持って主体的に対話するためには、自分の思いや考えを書かせる活動は大切である。」等、授業づくりのポイントが明らかとなった。その一方で、「新学習指導要領の完全実施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点で、さらなる授業実践を重ねていくことが大切である。」「焦点化してさらに研究を深めていく必要がある。」等の声が挙げられた。

そこで、今年度の研究では、昨年度の研究を継続するとともに、教科を絞り、算数科においての主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業づくり・授業改善を進めることで、昨年度の研究をさらにより深化させていきたい。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとリンクさせながら、学びの土台となる hyper・QU を活用した学習集団づくりや学習規律の確立、家庭学習の充実等、① 授業づくり ② 学習環境づくり ③ 学習集団づくりの3つの視点から、研究主題に迫っていきたい。

#### 4 研究の具体的内容与方法

- (1) 算数科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
  - ①授業づくりに向けての学習会
  - ②研究授業及び研究会
  - ③一人一実践授業
- (2) 家庭と連携した学習環境づくり
  - ①自主学習に向けた取り組み（「家庭学習の進め方」「こつこつばんく」）
  - ②家庭学習スタンバイに向けた取り組み
- (3) 意欲的に学ぶ学習集団づくり
  - ①K13法を用いた hyper-QU の分析と対策
  - ②学習規律の確立に向けた取り組み
- (4) その他の取り組み
  - ・教育課程研修還流報告会
  - ・プログラミング教育学習会
  - ・NRT の分析と課題の把握
  - ・アウトメディアに向けての取り組み

#### 5 年間校内研修計画

研究主任 青木 恵

研究テーマ	教科領域等	担当者	学 年	授業の時期	T・C 要請
・昨年度の成果と課題 ・今年度の研究の方向性		研究主任			
・今年度の研究について ・部会研究計画	授業・学習環境づくり	研究主任 各部部长			
・部会研究計画	授業・学習環境づくり	各部部长			
・今年度の活動計画について	授業・環境・集団づくり	各部部长			
・hyper-QU の分析と対策	集団づくり	部部长			
・授業づくりに向けての学習会	授業づくり	部部长		6月	○
・プログラミング教育学習会		研究主任 畠山先生			
・部会研究	授業・学習環境づくり	各部部长			
・新教育課程還流報告 ・NRT の分析と課題の把握		教務主任 研究主任			
・一人一実践授業	授業づくり	授業者	3年・4年・わかたけ	9月 10月	
・1学期の振り返り	環境・集団づくり	各部部长			
・部会研究	授業・学習環境づくり	各部部长			
・部会研究	授業・学習環境づくり	各部部长			
・授業案検討	授業づくり	部部长			
・研究授業及び研究会	授業づくり	部部长	6年	10月	○
・一人一実践授業	授業づくり	授業者	1年・5年・たけのこ・たけぶえ	11月 12月	
・部会研究	授業・学習環境づくり	各部部长			
・hyper-QU の分析と対策	集団づくり	部部长			
・アウトメディアについて		研究主任			
・2学期の振り返り	学習・環境・集団づくり	各部部长			
・今年度の成果と課題	学習・環境・集団づくり	各各部会			
・今年度の研究のまとめ		研究主任			
・次年度の研究について		研究主任			
・研究紀要作成		研究主任			

